平成26年度第５回浦安市介護保険運営協議会議事録

1．開催日時　　平成27年3月26日（木）午後1時15分～3時

2．開催場所　　消防本部3階　多目的ホール

3．出席者

（委　員）工藤委員(会長)、髙木委員、川名委員、西村委員、井村委員、山上委員、大塚委員、高波委員、等々力委員、森下委員、阿部委員、上辻委員、島貫委員、原口委員、近藤委員

（事務局）新宅健康福祉部長、長谷川健康福祉部次長、大塚介護保険課長、河野高齢者支援課主幹、泉澤健康増進課長、町山健康増進課課長補佐、関根介護保険課課長補佐、池田保険料係長、峯村事業係長、東給付係長、山田主任主事、奥山主任主事、戸邉主任主事

4．進　行

1.開　会
2.会長あいさつ
3.議　題
（1）平成27年度予算及び主要事業について
（2）高齢者保健福祉計画及び第6期介護保険事業計画について
（3）その他

5．会議経過

議題（1）について

委　員：平成27年度の総給付費及び標準給付費の予算額が、平成26年度と比べ増加した理由は。

事務局：事業計画上は、標準給付費が第5期と第6期で約33億円ほど伸びておりますが、この伸びの大きな要因は、平成27年4月に当代島地区に84床の広域特養がオープンすることです。また、要介護認定者も増え、サービス利用者が3か年で450人ほど増えると見込んでおり、それらを勘案すると、約33億円ほどの伸びとなります。

委　員：平成27年度の地域支援事業の予算額が、平成26年度と比べ増加しているのは？

事務局：一番大きい要因としては、地域包括支援センターが、平成28年度以降現在の2か所から4か所に増えることです。

委　員：平成27年度主要事業のうち高齢者福祉事業の新規4案件について、予算措置をしているならその金額はいくらか、また重点施策の該当項目は。

事務局：①特別養護老人ホーム入所者選定基準策定委員会は、委員報酬28万8,000円と茶菓代6,000円です。

②高齢者地域づくり推進事業は、AAネット浦安と市が共催で長野県の諏訪中央病院の鎌田實先生を招いて講演会を予定してますが、その講師謝礼金、チラシ・ポスターの製作費、運営委託費100万1,000円です。

③シニアいきいきサロン事業補助金は、平成26年度浦安市協働事業提案制度により採択さ

れたもので、うらやす市民大学の第5期生により結成された市民大学高齢者問題研究会と一緒に高齢者居場所作りや見守りなどの事業を実施するものですが、この事業の補助金として 181 万 6,100 円を予算計上しております。

④シーガーデン・日の出クラブ会館建設事業は、自治会と合築ということで、トータル金額 7,518 万円(税込 8,119 万 4,400 円)を面積按分して、45%の 3,653 万 7,480 円を予算計上しております。

重点施策については、上記②と③が「地域包括ケアシステムの構築」という大きなくくりの中で該当するものです。

委　員：転倒骨折予防をもっと展開できればいいと思う。

事務局：転倒骨折予防は、地域支援事業により市が事業者に委託して行っておりますが、市が呼びかけてもなかなか多くの方が集まりません。仲間の中で、身近なところで老人クラブの施設で、インストラクターのような方をお願いしつつやっていただく、というのも1つの方法かと考えています。

委　員：救急医療情報キットについて、一人暮らしの方などに勧め、届けているのだが、届けた後できちんと冷蔵庫に入れて用意しているかなかなか見届けられず、本当に役に立っているのか分からない。消防の方から役に立ったかどうかのフィードバックはあるのか。

事務局：冷蔵庫から取り出して役に立ったというケースが、毎年2、3件は消防の救急隊から報告が上がっています。具体的な件数については、お調べして次回の会議の時に報告いたします。

委　員：認知症カフェは舞浜倶楽部が開催しているが、市内で何か所ほどあるか。また、高齢者サロンや高齢者が対象の講演会など色々なところでやっているので、難しいと思うが、そういった情報を官も民も含めて一元化して提供できればいいと思う。

事務局：舞浜倶楽部の認知症カフェは年2回、その他には定期的なものとしてオムソーリプロジェクトが月1回集まりを持っております。各地で行われているサロン等の情報をまとめて提供していくのは今後の課題だと考えています。

6. 問い合わせ先

健康福祉部　介護保険課　保険料係　担当　池田・奥山
電話 047-351-1111　内線 1177・1178